

指導 標準的でない組手

- ・クロスグリップや、標準的でない組手は直ちに攻撃しなければならない。
直ちに攻撃しない場合は、指導となる。
- ・帯を持つことや、片襟も同様とする。



指導 標準的でない組手

相手の柔道衣（裾）掴む→直ちに攻撃する。



指導



相手の手をブロックする



脚を使って相手の組み手を切る

指導



相手の腕や手を叩いて組手を切る



ポケットグリップ、ピストルグリップ、手首をロックする（握る）

・袖部分のピストルグリップやポケットグリップは直ちに攻撃をしない場合、指導が与えられる。



相手又は自らの柔道衣（裾部分）を帯から出す

ベンディングポジション

片腕もしくは両腕で相手を屈ませるような状態にさせ、直ちに攻撃をしない場合は、ブロックしている（相手に攻撃をさせない）ということで指導が与えられる。



片足、もしくは両足が試合場外

片足が場外に出ている場合、直ちに攻撃しない、もしくは直ちに場内に戻らない：指導



指導

青の選手が直ちに場内に戻らない、もしくは攻撃をしない場合、指導

指導

相手に押し出されて場外に出た場合、押し出した方に指導が与えられる

攻撃しているように見せかけても、実際は相手を投げる意思がないことが明らかな場合（偽装攻撃）

偽装攻撃の定義

- 取に投げる意思がない
- 取が組まずに攻撃する、もしくは技を掛けた直後に組み手を放す
- 受のバランスを崩すことなく、単発の技、もしくは繰り返し技をかける
- 取が受の両脚の間に脚を差し込んで攻撃を阻止する

自身の柔道衣の上衣を使っての絞技

- ・自身もしくは相手の上衣の裾、帯もしくは指だけで絞技を施すことは認められていない。
- ・この攻撃を行った場合、指導が与えられる。

第25条、ポイント14と18が遵守される。



ベアハグ

- ・相手を投げるために抱きつくベアハグ＝指導



ベアハグで攻撃したい場合は、(攻撃前に) 少なくとも片手は (相手の柔道衣を) 持っていること。



脚を絡ませるポジション

脚を絡ませる動作をした場合、直ちに攻撃しなければ、指導が与えられる。



河津掛一反則負け

- ・ 1) 河津掛を施すこと

(片足を相手の脚に巻きつけて、相手とおおよそ同じ方向を向き、相手を後ろ側に投げる行為)

- ・ 2) 肘以外の場所に関節技を施すこと



反則負け

立技で帯よりも下を片手または両方の手、腕で攻撃、防御する全ての行為は反則負けとなる

